

実証成果 笑顔畑の山ちゃんファーム（静岡県浜松市）

実証課題名 東海地域の中山間地小規模野菜産地におけるスマート農業による持続可能な地域振興のビジネスモデルの確立

経営概要 220a(施設栽培33a、露地栽培80a、茶60a、水稻47a) うち実証面積:ダイコン80a



導入技術 ①自動操舵トラクタ②ラジコン草刈機③リモートセンシング用/液剤散布・粒剤散布用ドローン
④IoTカメラ・IoT電気柵⑤アシストスーツ⑥食品乾燥機⑦営農支援アプリケーション



目標 ダイコン生産面積 60a→120a、収量 2,000kg/10a→3,500kg/10a、作業時間 3.5h/10a 削減、持続可能なスマート農業による地域振興のビジネスモデルの確立

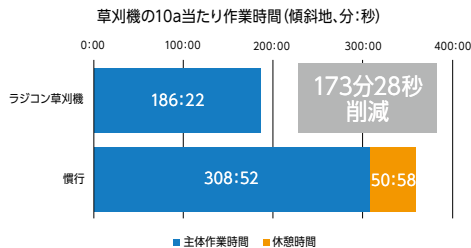
1 目標に対する達成状況

- スマート農機の活用により的確な生育管理・効率的な適期作業・獣害対策の徹底等を実現し、目標を大幅に上回る4,700kg/10aの収量を達成できた。作業時間も最大で17.8h/10a削減できた。
- スマート農機のシェアリング等、稼働率向上のための工夫により、中山間地の小規模多品目型野菜産地であっても持続可能・採算可能な水準でスマート農機を導入可能であることが確認できた。

2 導入技術の効果

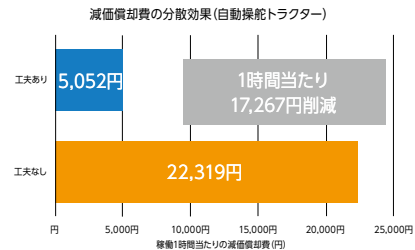
作業時間の削減効果

- 目標を上回る作業時間削減を達成(例:ラジコン草刈機)



シェアリングの効果

- 採算可能な水準まで減価償却費を分散(例:自動操舵トラクター)



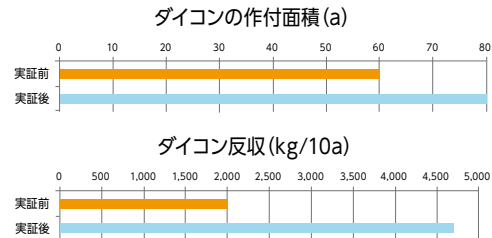
労働環境の改善効果

- 労働環境も大幅に改善(例:ドローン)

アンケート項目	回答者	低評価⇔高評価
圃場内での作業負担の軽減効果	回答者1	■
	回答者2	■
	回答者3	■
	回答者4	■
圃場外での準備段取負担の軽減効果	回答者1	■
	回答者2	■
	回答者3	■
	回答者4	■

生育管理の改善効果

- 現場負担の軽減による作付面積拡大
- 可変施肥や効率的な獣害対策による反収量



3 事業終了後の普及のための取組

- 次年度以降も視察の受入れ、研修講師の引き受け、コンソーシアム各構成員の業務を通じた情報発信を継続し、スマート農業技術の普及啓発に取り組んでいく。
- 浜松市が別途取り組んでいる浜松市スマート農業推進事業費補助金や浜松市スマート農業推進協議会を活用した情報発信・情報共有にも積極的に取り組み、スマート農業技術の一層の普及を促していく。

問い合わせ先 浜松市 産業部 農業水産課 (e-mail : nousui@city.hamamatsu.shizuoka.jp)